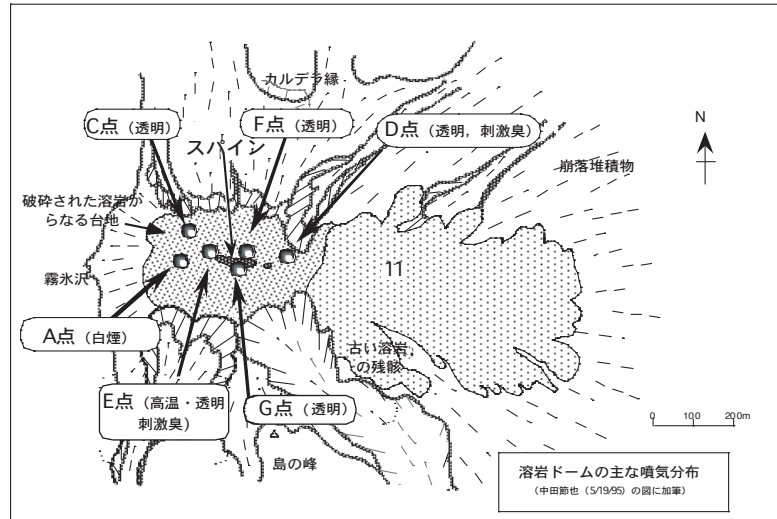
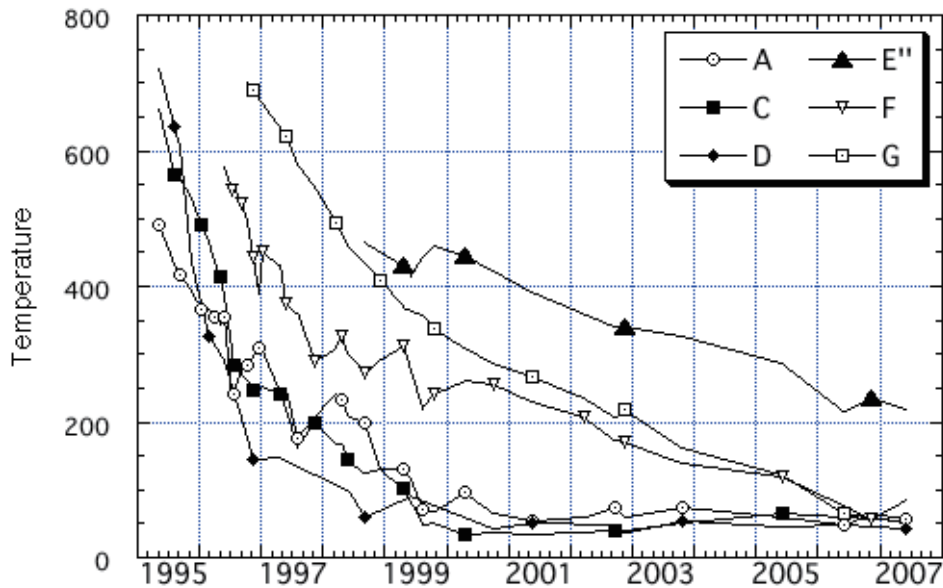


# 平成新山ドームの噴気ガスの温度変化



Temperature of Fumarolic Gas



- 噴気ガスの温度は順調に低下している。青白いガス（主に二酸化硫黄）や刺激臭のガスの量はしだいに減少している。
- 2007年5月31日測定での最高温度はE地点の摂氏218度であった。
- E点は東に傾きながら隆起した尖頂（Spine）の西側の根元にある。マグマの湧き出し口（旧地獄跡火口）の直上にあると推測される。
- E点噴気口において北川式検知管を用いて噴気ガスを観測した結果、SO<sub>2</sub> 3~5ppm, CO<sub>2</sub> 400~500ppm, H<sub>2</sub>S 検知されず、であった。

\*雑賀 敦・松島 健・清水 洋・杉本 健・渡邊篤志・松尾紉道